

松山 智一

1976年 岐阜県高山市に生まれる。現在はニューヨーク、ブルックリンを拠点に活動。

2000年 上智大学経済学部卒業

2002年 渡米

2004年 Pratt Institute (ニューヨーク) コミュニケーション・デザイン専攻 卒業

主な個展

2022年 *The Best Part About Us* (Kavi Gupta/シカゴ、米国)

2021年 *Boom Bye Bye Pain* (KOTARO NUKAGA/東京、日本)
Accountable Nature (龍美術館/重慶、中国)

2020年 *Accountable Nature* (龍美術館/上海、中国)

2018年 *No Place Like Home* (Zidoun Bossuyt Galley/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Same Same, Different (LUMINE O/東京、日本)

2017年 *Baby It's Cold Outside* (Lesley Kehoe Galleries/メルボルン、豪州)
Oh Magic Night (香港コンテポラリーアート財団、HOCA/香港)

2015年 *Somewhere Here* (Zidoun Bossuyt Galley/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Made In 17 Hours (オーストラリア現代美術館/シドニー、豪州)
Come With Me (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)

2014年 *Sky Is The Limit* (ハーバーシティー/香港)
Outside Looking In (Lesley Kehoe Gallery/メルボルン、豪州)

2013年 *The Standard Rendez-vous* (Zidoun Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
Palimpsest (ハーバード大学、ライシャワー研究所/ケンブリッジ、米国)

2012年 *New Work by Tomokazu Matsuyama* (Mark Moore Gallery/ロサンゼルス、米国)
The Future Is Always Bright (Gallery Wendi Norris/サンフランシスコ、米国)
Thousand Regards (アメリカン大学美術館カッツェンアートセンター/ワシントンDC、米国)

2011年 *East Weets West* (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)

2010年 *In Case You're Lost* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)

2009年 *Glancing at the Twin Peak* (Joshua Liner Gallery/ニューヨーク、米国)

2007年 *Between the Polar* (Takuro Someya Contemporary Art/千葉、日本)

主なグループ展

- 2021年 *Realms of Refuge* (Kavi Gupta/シカゴ、米国)
Home & Away: Selections From Common Practice (Miles McEnery Gallery/ニューヨーク、米国)
Nature Morte (The Hole Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2020年 *We Used To Gather* (Library Street Collective/デトロイト、米国)
- 2019年 *FIXED CONTAINED* (Kotaro Nukaga/東京、日本)
- 2018年 *Pardon My Language, Curated by Tomokazu Matsuyama*
(Zidoun Bossuyt Gallery/ルクセンブルク、ルクセンブルク)
- 2017年 *Re:define* (ダラス・コンテポラリー/テキサス、米国)
Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime (Ramapo College of New Jersey/ニュージャージー、米国)
- 2013年 *Mess in' With The Masters* (メサコンテンポラリーアートセンター/アリゾナ、米国)
Edo-POP (ジャパン・ソサエティー/ニューヨーク、米国)
Changing World Through Art (Marianne Boesky Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2012年 *Re:Define* (ゴス・マイケル財団/ テキサス、米国)
- 2011年 *untitled* (チベットハウス美術館/ ニューヨーク、米国)
Joy Ride (Spencer Brownstone Gallery/ ニューヨーク、米国)
We Are All One (ニューヨーク工科大学/ニューヨーク、米国)
Changing World Through Art (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)
The Open Day Book Exhibition (Los Angeles Contemporary Exhibition/ロサンゼルス、米国)
- 2010年 *Sugi-Pop! The Influence of Anime and Manga on Contemporary Art*
(ポーツマス美術館/ニューハンプシャー、米国)
Summer Group Exhibition (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)
DRAW (メキシコ市博物館/メキシコシティ、メキシコ)
Changing the World Through Art (Haunch of Venison Gallery/ニューヨーク、米国)
- 2009年 *Lost in Mutation: The Surreal in Contemporary Japanese Art*
(タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)
Sacred Monsters (タフツ大学アイデックマン・アートセンター/マサチューセッツ、米国)
UNFRAMED 2009 (15 Union Square/ニューヨーク、米国)
- 2008年 *Winter Group Show* (Frey Norris Gallery/サンフランシスコ、米国)
眼差しと好奇心 (ミヅマアートギャラリー/東京、日本)
Night Watch (タクロウソメヤ・コンテンポラリーアート/千葉、日本)
Piece of Peace (パルコ・ギャラリー/東京、日本)
- 2007年 *U Can' t Touch This: The New Asian Art* (チェルシーアートセンター/ニューヨーク、米国)
Bunkamura Art Show 2007 (Bunkamura ギャラリー/東京、日本)
Project To Surface (M127/ニューヨーク、米国)
Natural Drift (タクロウソメヤ・コンテンポラリーアート/千葉、日本)

コレクション

ロサンゼルス・カウンティ美術館 (LACMA) (米国)
サンフランシスコ・アジア美術館 (米国)
マイクロソフト・コレクション (米国)
The Dean コレクション (米国)
トヨタ自動車 (米国)
龍美術館 (中国)
宝龍美術館 (中国)
Bank of Sharjah コレクション (アラブ首長国連邦)
ドバイ首長国王室コレクション (アラブ首長国連邦)
ポイント・レオ・エステート (豪州)
ナイキ・ジャパン (日本)
リーバイ・ストラウスジャパン (日本)

パブリック・アート・プロジェクト

- 2022 JING Vision (東京、日本)
LED ビルボードインスタレーション / jing、原宿駅前
- 2021 千葉 JPF ドーム (千葉、日本)
彫刻とミューラルインスタレーション
- Ivy ステーション (ロサンゼルス、米国)
彫刻とミューラルインスタレーション / カルバー・シティ, ロサンゼルス
- Guo Hua Financial Center (重慶、中国)
LED ビルボードインスタレーション / 龍美術館
- 2020 JR 新宿東口駅 (東京、日本)
駅前広場監修、恒久作品設置 / JR 東日本、LUMINE
- 明治神宮 (東京、日本)
「神宮の杜芸術祝祭」野外彫刻設置 / アートパワーズジャパン
- 2019 North Canon Drive (ビバリーヒルズ、米国)
ミューラルインスタレーション / ビバリーヒルズ市
- パワーリーミューラル (ニューヨーク、米国)
ミューラルインスタレーション / Goldman Global Arts
- 2018 渋谷スクランブルスクエア (東京、日本)
LED ビルボードインスタレーション / Peanuts Global Arts、ソニー、Culture Corps
- 2014 ハーバーシティ (香港)
野外アートインスタレーション / ハーバーシティ

作品集、展覧会図録

『Tomokazu Matsuyama IN AND OUT』

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
美術出版社書籍編集部 (東京), 2021

『Fixed Contained』 KOTARO NUKAGA (東京), 2019

テキスト: 秋元雄史

『No Place Like Home』

Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018

テキスト Hollis Goodall

『Pardon My Language』

Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2018

テキスト: Peter Doroshenko

『Tomokazu Matsuyama』

HOCA Foundation (香港), 2017

テキスト Rory Padeken and Lauren Every-Wortman

『Tomokazu Matsuyama: A Floating World Redux』

Zidoun-Bossuyt Gallery (ルクセンブルク), 2016

テキスト Eric Shiner.

『Palimpsest』

Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University (ケンブリッジ), 2013

テキスト David L. Howell.

『Thousand Regards』 Panorama Publishing (東京), 2013

テキスト: Yayoi Shionoiri

『Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints』

Japan Society (ニューヨーク), 2013

『Further』 Gingko Press (バークレー), 2010、 pp.156-203

『In Case You're Lost』 Frey Noris Gallery (サンフランシスコ), 2010

テキスト Eric Shiner

『Tomokazu Matsuyama』 Panorama Publishing (東京), 2010

テキスト: Eric Shiner, Alexandra Chang, 窪田研二

『Found Modern Library』 Gingko Press (バークレー), 2007

テキスト: Alexandra Chang